

24.12.2004

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 3 年 1 2 月 2 5 日

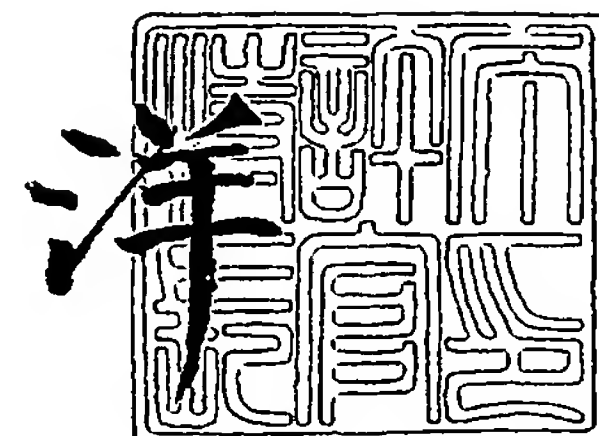
出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 3 - 4 2 9 4 4 0
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 4 2 9 4 4 0]

出 願 人
Applicant(s): 松 下 電 器 産 業 株 式 会 社

2 0 0 5 年 2 月 1 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願
【整理番号】 2113150068
【提出日】 平成15年12月25日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04N 17/04
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 三俣 龍明
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100097445
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 岩橋 文雄
【選任した代理人】
 【識別番号】 100103355
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 坂口 智康
【選任した代理人】
 【識別番号】 100109667
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 内藤 浩樹
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 011305
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制するデータ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とするテレビ放送受信装置。

【請求項 2】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示を行うかどうかを利用者に問い掛ける表示を行うデータ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とするテレビ放送受信装置。

【請求項 3】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送を再生する機器に対して通信手段を通じてデータ放送の表示を指示するデータ放送切換手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とするテレビ放送受信装置。

【請求項 4】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定された放送受信機に対してデータ取得要求を出す送受信手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とするテレビ放送受信装置。

【請求項 5】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定された放送受信装置に対してデータ取得要求を出し、ユーザにNVRAMデータ一覧を提示する送受信手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とするテレビ放送受信装置。

【請求項 6】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、データ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制することを特徴とするテレビ放送受信方法。

【請求項 7】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存するROMと、ROMに保存されたプログラムを実行するCPUと、プログラム実行用のRAMと、データ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納するNVRAMと、他の受信機と通信を行うための通

信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示を行うかどうかを利用者に問い掛ける表示を行うことを特徴とするテレビ放送受信方法。

【請求項 8】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存する ROM と、ROM に保存されたプログラムを実行する CPU と、プログラム実行用の RAM と、データ放送切換手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納する NVRAM と、他の受信機と通信を行うための通信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送を再生する機器に対して通信手段を通じてデータ放送の表示を指示することを特徴とするテレビ放送受信方法。

【請求項 9】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存する ROM と、ROM に保存されたプログラムを実行する CPU と、プログラム実行用の RAM と、送受信手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納する NVRAM と、他の受信機と通信を行うための通信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定された放送受信機に対してデータ取得要求を出すことを特徴とするテレビ放送受信方法。

【請求項 10】

受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存する ROM と、ROM に保存されたプログラムを実行する CPU と、プログラム実行用の RAM と、送受信手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納する NVRAM と、他の受信機と通信を行うための通信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定された放送受信機に対してデータ取得要求を出し、データの一覧をユーザーが選び、データ放送を表示することを特徴とするテレビ放送受信方法。

【請求項 11】

請求項 6 に記載のテレビ放送受信方法を実現するプログラムをコンピュータ読み取り可能な形式で記録した記録媒体。

【請求項 12】

請求項 7 に記載のテレビ放送受信方法を実現するプログラムをコンピュータ読み取り可能な形式で記録した記録媒体。

【請求項 13】

請求項 8 に記載のテレビ放送受信方法を実現するプログラムをコンピュータ読み取り可能な形式で記録した記録媒体。

【請求項 14】

請求項 9 に記載のテレビ放送受信方法を実現するプログラムをコンピュータ読み取り可能な形式で記録した記録媒体。

【請求項 15】

請求項 10 に記載のテレビ放送受信方法を実現するプログラムをコンピュータ読み取り可能な形式で記録した記録媒体。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 テレビ放送受信装置及びその方法

【技術分野】

【0 0 0 1】

本発明は、テレビ放送受信装置及びその方法に関し、更に詳しくは、データ放送を受信可能なテレビ放送受信装置及びその方法に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

従来、B S デジタルチューナーを内蔵した、ブルーレイディスクレコーダーという装置がある（例えば、非特許文献 1 参照）。図 1 3 に示す通り、テレビ放送受信装置とブルーレイディスクレコーダーそれぞれにデジタルチューナーを搭載し、それぞれの機器にデータ放送に必要なデータを保存する領域を保持する。

【0 0 0 3】

一方、テレビ放送受信装置、外部チューナー、ビデオデッキのそれぞれにデジタルチューナーを内蔵していた場合、それぞれに N V R A M 領域をもち、それぞれの機器間ではお互いにデータを共有する機能を有さない構成となる。つまり、N V R A M 領域はデータの不正利用を防ぐためにコピーすることができない構成となっている。

【非特許文献 1】 “ソニー、世界初のブルーレイレコーダを 4 月 1 0 日に発売”、[online]、平成 1 5 年 3 月 3 日、A V W a t c h、[平成 1 5 年 9 月 2 8 日検索]、インターネット<URL: <http://www.watch.impress.co.jp/av/docs/20030303/sony.htm>>

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 0 4】

たとえば、毎週放送されているデータ放送番組において、ゲームのポイントの結果を次週に持ち越すことができる場合、1 週目はテレビ放送受信装置で視聴し、2 週目はビデオデッキで視聴すると、1 週目の N V R A M に保存されたポイントが 2 週目の放送受信時に利用できなくなってしまう。

【0 0 0 5】

つまり、テレビ放送受信装置、外部チューナー、ビデオデッキのそれぞれにデジタルチューナーを内蔵していた場合、それぞれで N V R A M の内容が継承されず、ユーザーが意図しない N V R A M 領域を利用してデータ放送を見てしまうという問題があった。

【0 0 0 6】

本発明は、上記問題に鑑み、意図しない N V R A M 領域を利用してデータ放送を視聴することを防ぐことが可能なテレビ放送受信装置及びその方法を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 0 7】

本発明の請求項 1 に係るテレビ放送受信装置は、受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存する R O M と、R O M に保存されたプログラムを実行する C P U と、プログラム実行用の R A M と、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制するデータ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納する N V R A M と、他の受信機と通信を行うための通信手段を持つことを特徴とする。

【0 0 0 8】

また、本発明の請求項 2 に係るテレビ放送受信装置は、請求項 1 の放送受信装置の構成において、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示を行うかどうかを利用者に問い掛ける表示を行うことを特徴とする。

【0 0 0 9】

また、本発明の請求項 3 に係るテレビ放送受信装置は、ユーザーからのデータ放送要求

に対して設定状態に応じてデータ放送を再生する機器に対して通信手段を通じてデータ放送の表示を指示することを特徴とする。

【0010】

また、本発明の請求項4に係るテレビ放送受信装置は、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定されたテレビ放送受信装置に対してデータ取得要求を出すことを特徴とする。

【0011】

また、本発明の請求項5に係るテレビ放送受信装置は、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定されたテレビ放送受信装置に対してデータ取得要求を出し、ユーザーにNVRAMデータ一覧を提示することを特徴とする。

【発明の効果】

【0012】

本発明により、利用者は意図したNVRAM領域を利用してデータ放送を視聴することが可能となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

(実施の形態1)

図1は、本発明の実施の形態1に係るテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図である。

【0014】

テレビ放送受信装置111は、受信したテレビ信号を変換するチューナー101、受信したデータを映像に変換する画像処理部102、プログラムやデータを保存するROM104、ROM104に保存されたプログラムを実行するCPU103、プログラム実行用のRAM105、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制するデータ放送表示抑制部106、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納しており、あらかじめユーザーによって設定されたデータ放送表示抑制部106で用いるデータ放送を抑制するかどうかのデータも保存するNVRAM107、リモコン受光部108、他のテレビ放送受信装置と通信を行うための通信部110を持つ。

【0015】

チューナー101にアンテナケーブルを介して、テレビ信号114を接続し、通信部110に通信用ケーブルを用いて、ネットワーク113に接続し、操作用にリモコン112を用意した例である。

【0016】

映像記録装置131は、テレビ放送受信装置111の構成に記録部129を追加した構成となっている。映像記録装置131はテレビ放送受信装置111と同様に受信したテレビ信号を変換するチューナー121、受信したデータを映像に変換する画像処理部122、プログラムやデータを保存するROM124、ROM124に保存されたプログラムを実行するCPU123、プログラム実行用のRAM125、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制するデータ放送表示抑制部126、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納しており、データ放送表示抑制部126で用いるデータ放送を抑制するかどうかのデータも保存するNVRAM127、リモコン受光部128、通信部130を持つ。

【0017】

チューナー121にアンテナケーブルを介して、テレビ信号134を接続し、通信部120に通信用ケーブルを用いて、ネットワーク133に接続し、操作用にリモコン132を用意した例である。

【0018】

本実施の形態では、テレビ放送受信装置111と映像記録装置131の両方でデータ放送表示抑制部(106、126)を持っているが、テレビ放送受信装置111にのみある構成でも良い。

【0019】

次に、データ放送表示抑制部 106 の処理について、図 2 に示すフローチャートを用いて説明する。

【0020】

リモコン 112 による操作を、入力処理 F101 で受け付ける。入力された信号がデータ放送の起動を指示するものでない場合は (F102 で NO)、データ放送表示抑制部 106 では入力された信号は処理されず、入力処理 F101 に戻る。

【0021】

一方、入力された信号がデータ放送起動に関する信号であった場合は (F102 で YES)、データ放送ロック確認処理 F103 へ移る。データ放送ロックなしの情報が NVRAM107 に保存されていなければ (F103 で NO)、データ放送起動処理 F104 を実行する。データ放送ロックありの情報が NVRAM107 に保存されていれば (F103 で YES)、メッセージ表示処理 F105 において、データ放送がロックされている旨を表示し、データ放送の起動をせずに終了する。データ放送のロックの有無はリモコン 112 を用いてユーザーによってあらかじめ設定され、設定内容は NVRAM107 に保存される。

【0022】

図 3 は、本発明のデータ放送表示抑制部 106 の画面表示例である。画面上では確認ボタンを備えているが、任意の操作や、タイムアウトで表示を消しても良い。また、画面表示無しに抑制することも可能である。

【0023】

(実施の形態 2)

本発明の実施の形態 2 に係るテレビ放送受信装置の構成は、実施の形態 1 と同様である。実施の形態 2 は、ユーザーがテレビ放送受信装置でデータ放送の再生を指示した場合にメッセージを表示する点が実施の形態 1 と異なる。

【0024】

次に、データ放送表示抑制部 106 の処理について、図 4 に示すフローチャートを用いて説明する。リモコン 112 による操作を、入力処理 F201 で受け付ける。入力された信号がデータ放送の起動を指示するものであったならば (F202 で YES)、データ放送表示抑制部 106 ではデータ放送の再生を行うかどうかの質問をユーザーに投げかける表示を行う (F203)。その表示に対する入力が継続であったならば (F204 で YES)、データ放送の表示を開始する (F205)。もし、表示に対する入力が継続を示すものでなければ (F204 で NO)、データ放送の表示処理を行わずに、スタートに戻る。

【0025】

図 5 は、本発明のデータ放送表示抑制部 106 の画面表示例である。この画面上で、データ放送を表示するかどうかをユーザーに確認させることで、利用者が意図したテレビ放送受信装置でデータ放送を再生しようとしているかどうか確認できる。

【0026】

(実施の形態 3)

図 6 は、本発明の実施の形態 3 に係るテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図である。図 1 と同符号を付したものは同じ機能を有するため説明を省略する。

【0027】

データ放送切換部 306、326 は、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送を再生する機器に対して通信部 110 を通じてデータ放送の表示を指示する。

【0028】

次に、本発明のデータ放送切換部 306 の処理について、図 7 に示すフローチャートを用いて説明する。リモコン 112 による操作を、入力処理 F301 で受け付ける。入力された信号がデータ放送の起動を指示するものであったならば (F302 で YES)、デー

タ放送切換部 3 0 6 ではデータ放送を他のテレビ放送受信装置で再生を行うかどうかの質問を利用者に投げかける表示を行う (F 3 0 3)。その表示に対する入力が続続であったならば (F 3 0 4 で Y E S)、データ放送の表示を開始する通信を行う (F 3 0 5)。データ通信を開始するために、F 3 0 5 では、放送の種類、放送のチャンネル、データ放送の開始を指示する信号を送信する。どの機器に対して通信するかは N V R A M に記録されている。もし、表示に対する入力が続続を示すものでなければ (F 3 0 4 で N O)、データ放送の表示処理を行わずに、スタートに戻る。

【 0 0 2 9 】

図 8 は、本発明のデータ放送切換部 3 0 6 の画面表示例である。この画面上で、データ放送を表示するかどうかを利用者に確認させることで、利用者が意図したテレビ放送受信装置でデータ放送を再生しようとしているかどうか確認できる。画面上では確認ボタンを備えているが、任意の操作や、タイムアウトで表示を消しても良い。また、画面表示無しに切り替えることも可能である。

【 0 0 3 0 】

(実施の形態 4)

図 9 は、本発明の実施の形態 4 に係るテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図である。図 1 と同符号を付したものは同じ機能を有するため説明を省略する。

【 0 0 3 1 】

データ送受信部 4 0 6、4 2 6 は、ユーザーからのデータ放送表示要求に対して、あらかじめ設定された機器に対してデータ取得要求を出す。

【 0 0 3 2 】

ユーザーが映像記録装置 1 3 1 でテレビ放送受信中にデータ放送の表示を開始する指示をした場合、データ送受信部 4 2 6 は N V R A M 1 2 7 に保存された参照先の情報を元に通信部 1 2 0 を通じて、テレビ放送受信装置 1 1 1 のデータ送受信部 4 0 6 に指令を出し、N V R A M 1 0 7 の値を参照する。N V R A M 1 0 7 の値の参照がぶつからないように N V R A M 1 0 7 にはデータ使用中のフラグを立てる。データ使用中のフラグを立てた後、データ送受信部 4 0 6 とデータ送受信部 4 2 6 が通信を行い、N V R A M 1 2 7 にデータをコピーする。データ放送受信終了後はデータ送受信部 4 0 6 とデータ送受信部 4 2 6 の通信により、N V R A M 1 2 7 に記録された内容を N V R A M 1 0 7 に書き戻す。

【 0 0 3 3 】

次に、本発明のデータ送受信部 4 2 6 の処理について、図 1 0 に示すフローチャートを用いて説明する。リモコン 1 1 2 による操作を、入力処理 F 4 0 1 で受け付ける。入力された信号がデータ放送の起動を指示するものであったならば (F 4 0 2 で Y E S)、データ送受信部 4 2 6 ではあらかじめ N V R A M 1 2 7 に記録された機器に対してデータの受信の要求を行い N V R A M 1 2 7 にデータを保存する。受信が完了すれば (F 4 0 4 で Y E S)、データ放送の表示を開始する (F 4 0 5)。送受信がうまくいかない場合には (F 4 0 4 で N O)、データ放送の表示処理を行わずに、スタートに戻る。

【 0 0 3 4 】

(実施の形態 5)

本発明の実施の形態 5 に係るテレビ放送受信装置の構成は実施の形態 4 と同様であるため説明を省略する。

【 0 0 3 5 】

利用者がテレビ放送受信装置 1 1 1 に対して、データ放送の視聴を開始する指示を行った場合、ネットワーク内の他のテレビ放送受信装置をサーチあるいはあらかじめ N V R A M 1 0 7 に登録された機器に N V R A M のデータ放送用の記録領域を問い合わせる。ここでは、映像記録装置 1 3 1 のデータ送受信部 4 2 6 に対して、映像記録装置 1 3 1 内部の N V R A M 1 2 7 にデータ放送用の記録領域がいくつどのような状態であるかを通信で取得する。その結果を元にデータ放送に使用可能な N V R A M 領域一覧を提示する。利用者が一覧の中にあるデータ放送用 N V R A M 領域のうち映像記録装置 1 3 1 内のデータを指示した場合、データ送受信部 4 0 6 は通信部 1 2 0 を通じて、映像記録装置 1 3 1 のデー

タ送受信部426に指令を出し、NVRAM127の値を参照する。NVRAM127の値の参照がぶつからないようにNVRAM127にはデータ使用中のフラグを立てる。データ使用中のフラグを立てた後、データ送受信部406とデータ送受信部426が通信を行い、NVRAM107にデータをコピーする。データ放送受信終了後はデータ送受信部406とデータ送受信部426の通信により、NVRAM107に記録された内容をNVRAM127に書き戻す。

【0036】

次に、本発明のデータ送受信部406の処理について、図11に示すフローチャートを用いて説明する。リモコン112による操作を、入力処理F501で受け付ける。入力された信号がデータ放送の起動を指示するものであったならば(F502でYES)、データ送受信部406ではあらかじめNVRAM107に記録された機器に対してデータの一覧受信の要求を行う(F503)。次の受信機がなくなるまで同様の作業を続ける(F504でNO、F503)。NVRAM領域が複数検出されれば(F505でYES)、NVRAM領域の一覧を提示する(F506)。データ領域が確定すればその後の動作は実施の形態4と同様の動作を行う。

【0037】

図12は、本発明のデータ送受信部406の画面表示例である。この画面上で、利用者はデータ放送を受信するために必要な記録領域を指定することができる。利用者があらかじめわかっている、利用者とNVRAM領域の組み合わせが一意に決まっている場合にはこの画面を出すことなく、自動的にデータ放送の表示を開始することも可能である。

【0038】

なお、実施の形態1乃至実施の形態5では、テレビ放送受信装置とブルーレイディスクレコーダーで説明したが、デジタル放送受信機能を内蔵した機器同士であれば、テレビ放送受信装置同士でもデジタルチューナーや、レコーダー間でも良い。また、通信回線を使用するため、同じ場所に設置したものに限らず、別の部屋や、遠隔地に設置した場合や、移動体においても同様の機能が実現できる。

【0039】

通信方法は、イーサネット(R)を用いたシステムを想定しているが、赤外線を用いた通信でも良いし、シリアルケーブルでも良い。何らかのデータ通信ができれば通信手段によらず実現可能である。

【0040】

以上説明した本発明の機能は、CPUを所定の手順で動作させることで実現できる。この所定の手順を記述したプログラムはROMに格納されている。本発明においては、この記録媒体として、図示していないメモリがプログラムメディアであってもよいし、また外部記憶装置としてプログラム読み取り装置を設け、そこに記録媒体を挿入することで読み取り可能なプログラムメディアであってもよい。いずれの場合においても、格納されているプログラムは、CPUがアクセスして実行させる構成であってもよいし、あるいはプログラムを読み出し、読み出したプログラムを、放送受信装置の図示されていないプログラム記憶エリアにダウンロードして、そのプログラムが実行される方式であってもよい。このダウンロード用のプログラムは予め本体装置に格納されているものとする。

【0041】

ここでプログラムメディアは、本体と分離可能に構成される記録媒体であり、磁気テープやカセットテープ等のテープ系、フロッピー(R)ディスクやハードディスク等の磁気ディスクやCD-ROM/MO/MD/DVD等の光ディスク系、ICカード(メモリカードを含む)/光カード等のカード系、あるいはマスクROM、EPROM、EEPROM、フラッシュROM等による半導体メモリを含めた固定的にプログラムを保持する媒体であってもよい。

【0042】

また、本発明においては、インターネットを含む通信ネットワークと接続可能なシステム構成であることから、通信ネットワークからプログラムをダウンロードするように流動

的にプログラムを担持する媒体であってもよい。尚、このように通信ネットワークからプログラムをダウンロードする場合には、そのダウンロード用プログラムは予め装置本体に格納しておくか、あるいは別の記録媒体からインストールされるものであってもよい。なお、記録媒体に格納されている内容としては、プログラムに限定されず、データも含まれることはいうまでもない。

【産業上の利用可能性】

【0 0 4 3】

本発明のテレビ放送受信装置は、利用者が意図したNVRAM領域を利用してデータ放送を視聴することが可能となる効果を有し、デジタル放送を受信する機能を搭載したAV機器等に有用である。

【図面の簡単な説明】

【0 0 4 4】

【図1】 本発明の実施の形態1におけるテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図

【図2】 本発明の実施の形態1におけるデータ放送表示抑制部の処理を示すフローチャート

【図3】 本発明の実施の形態1における画面表示を示す一例図

【図4】 本発明の実施の形態2におけるデータ放送表示抑制部の処理を示すフローチャート

【図5】 本発明の実施の形態2における画面表示を示す一例図

【図6】 本発明の実施の形態3におけるテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図

【図7】 本発明の実施の形態3におけるデータ放送切換部の処理を示すフローチャート

【図8】 本発明の実施の形態3における画面表示を示す一例図

【図9】 本発明の実施の形態4、5におけるテレビ放送受信装置の構成を示すブロック図

【図10】 本発明の実施の形態4におけるデータ送受信部の処理を示すフローチャート

【図11】 本発明の実施の形態5におけるデータ送受信部の処理を示すフローチャート

【図12】 本発明の実施の形態5における画面表示を示す一例図

【図13】 従来例の構成を示すブロック図

【符号の説明】

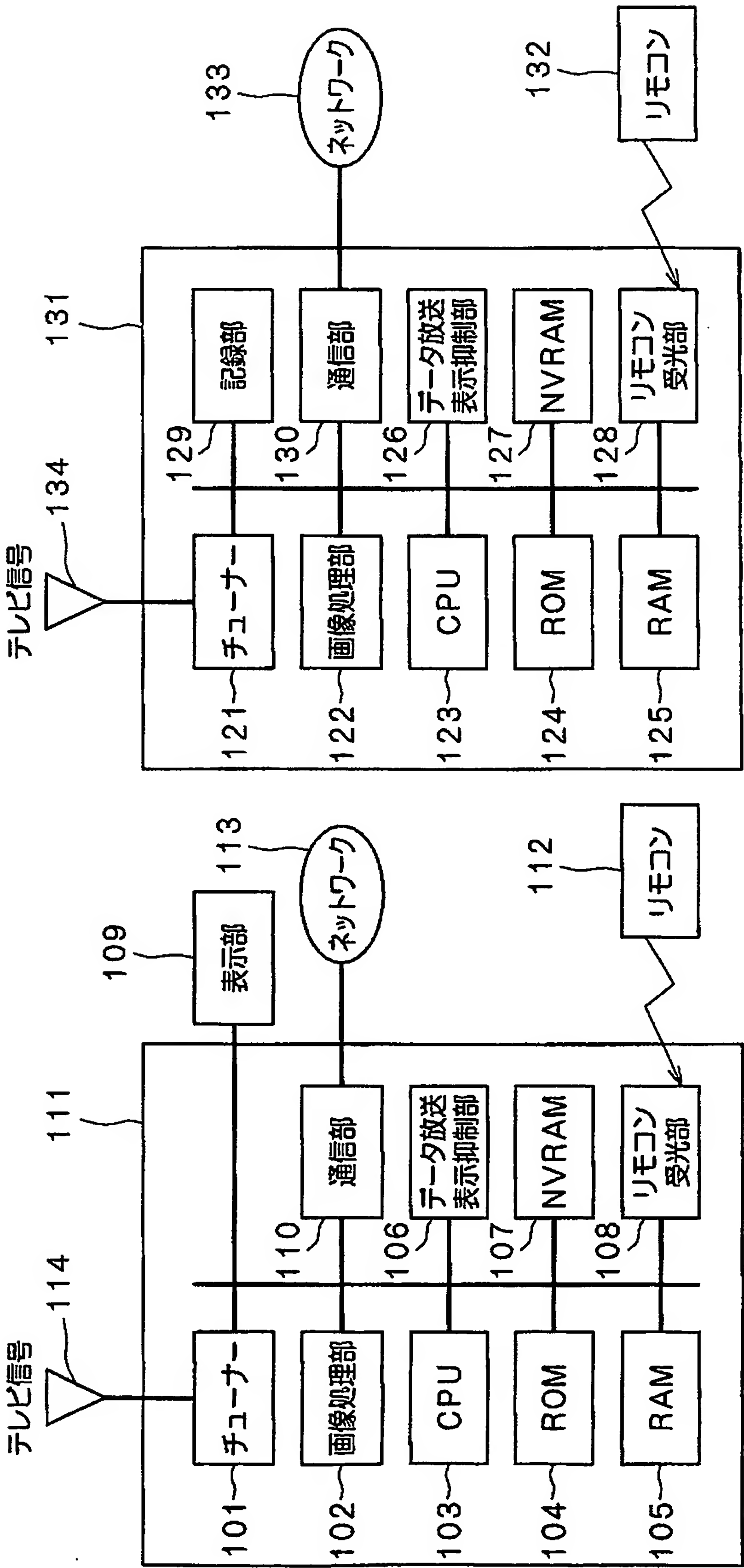
【0 0 4 5】

101	チューナー
102	画像処理部
103	CPU
104	ROM
105	RAM
106	データ放送表示抑制手段
107	NVRAM
108	リモコン受光部
109	表示部
110	通信部
111	テレビ放送受信装置
112	リモコン
113	ネットワーク
114	テレビ信号
121	チューナー
122	画像処理部
123	CPU

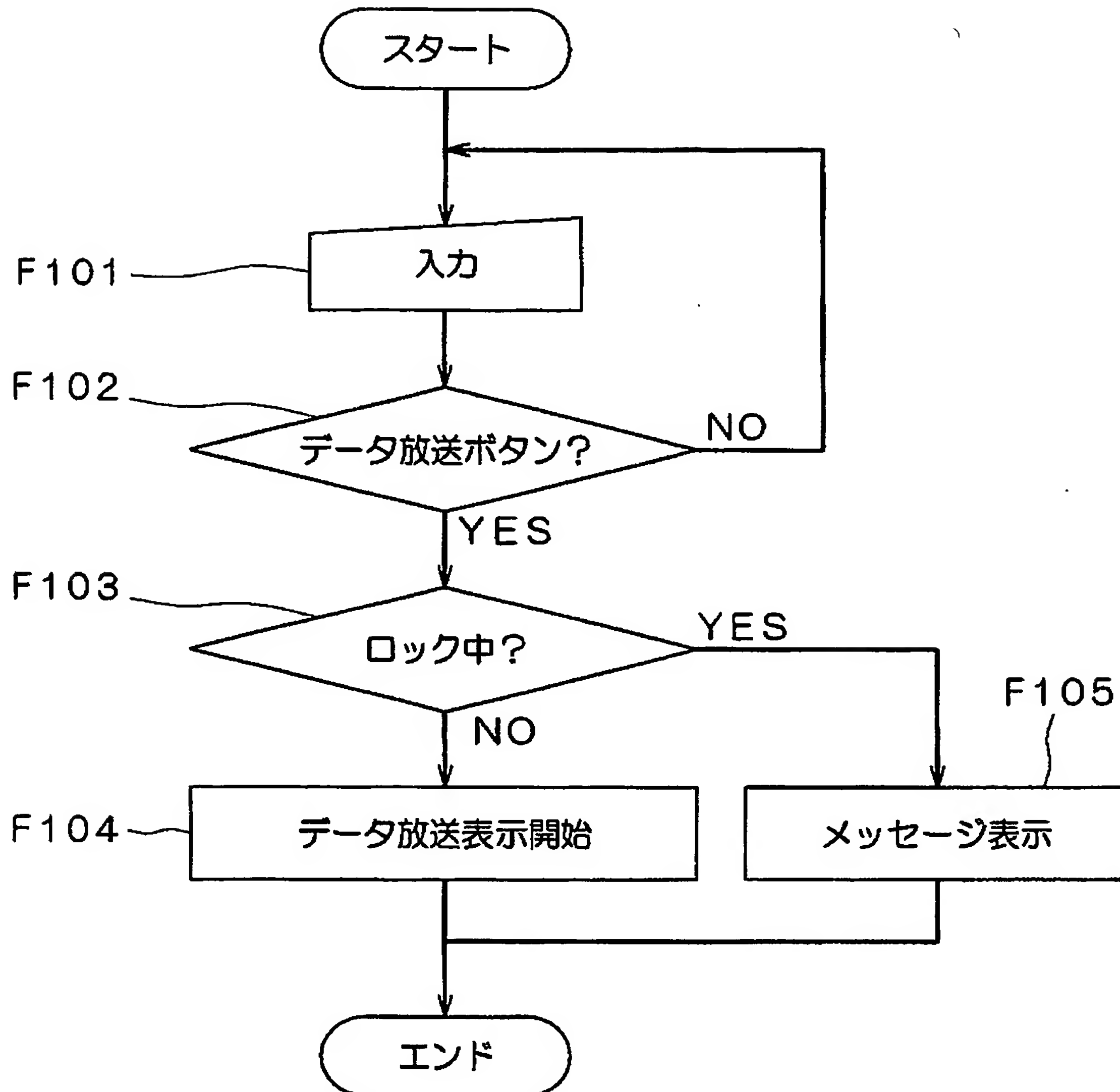


1 2 4	R O M
1 2 5	R A M
1 2 6	データ放送表示抑制部
1 2 7	N V R A M
1 2 8	リモコン受光部
1 2 9	記録部
1 3 0	通信部
1 3 1	映像記録装置
1 3 2	リモコン
1 3 3	ネットワーク
1 3 4	テレビ信号

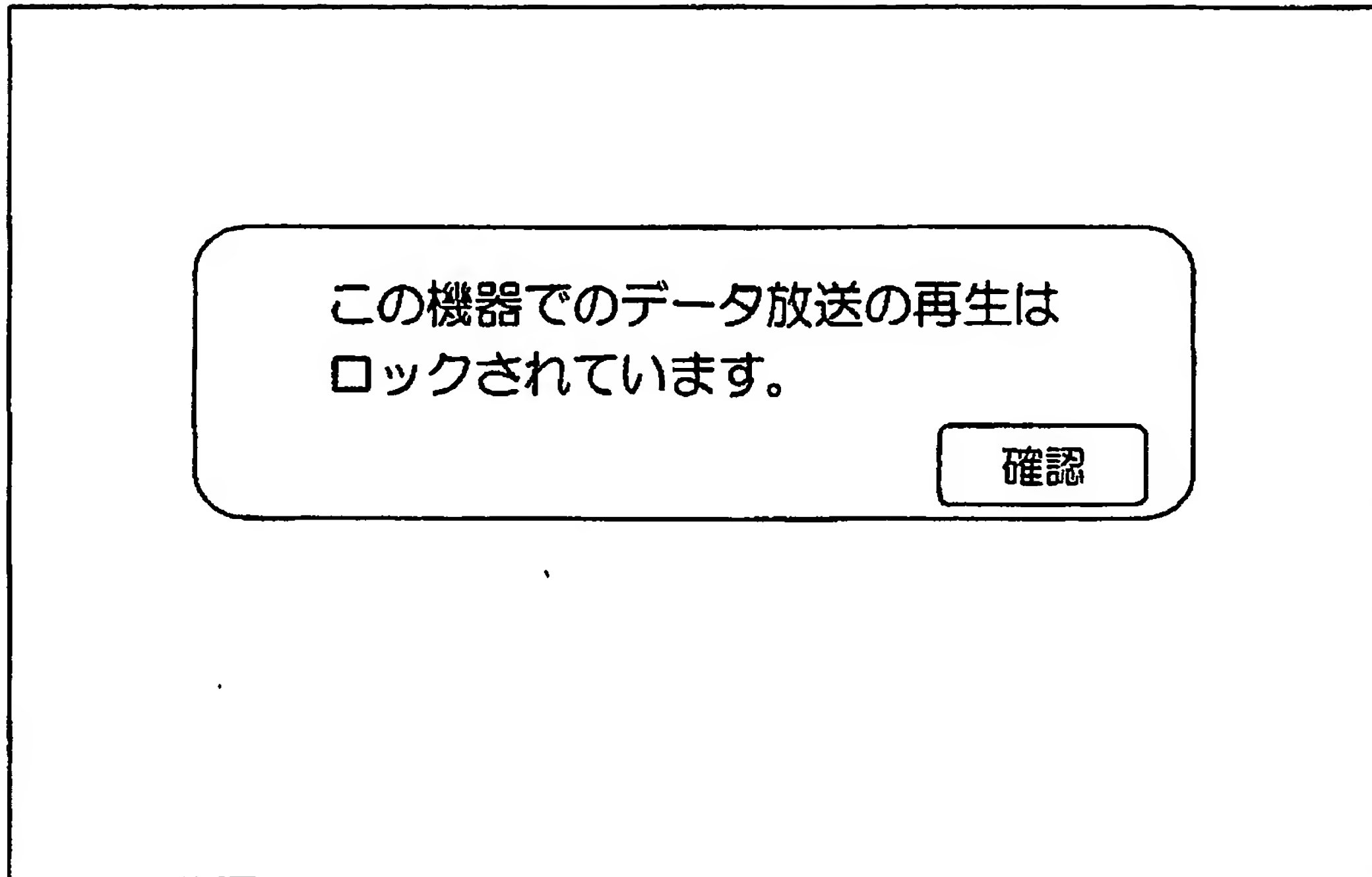
【書類名】 図面
【図 1】



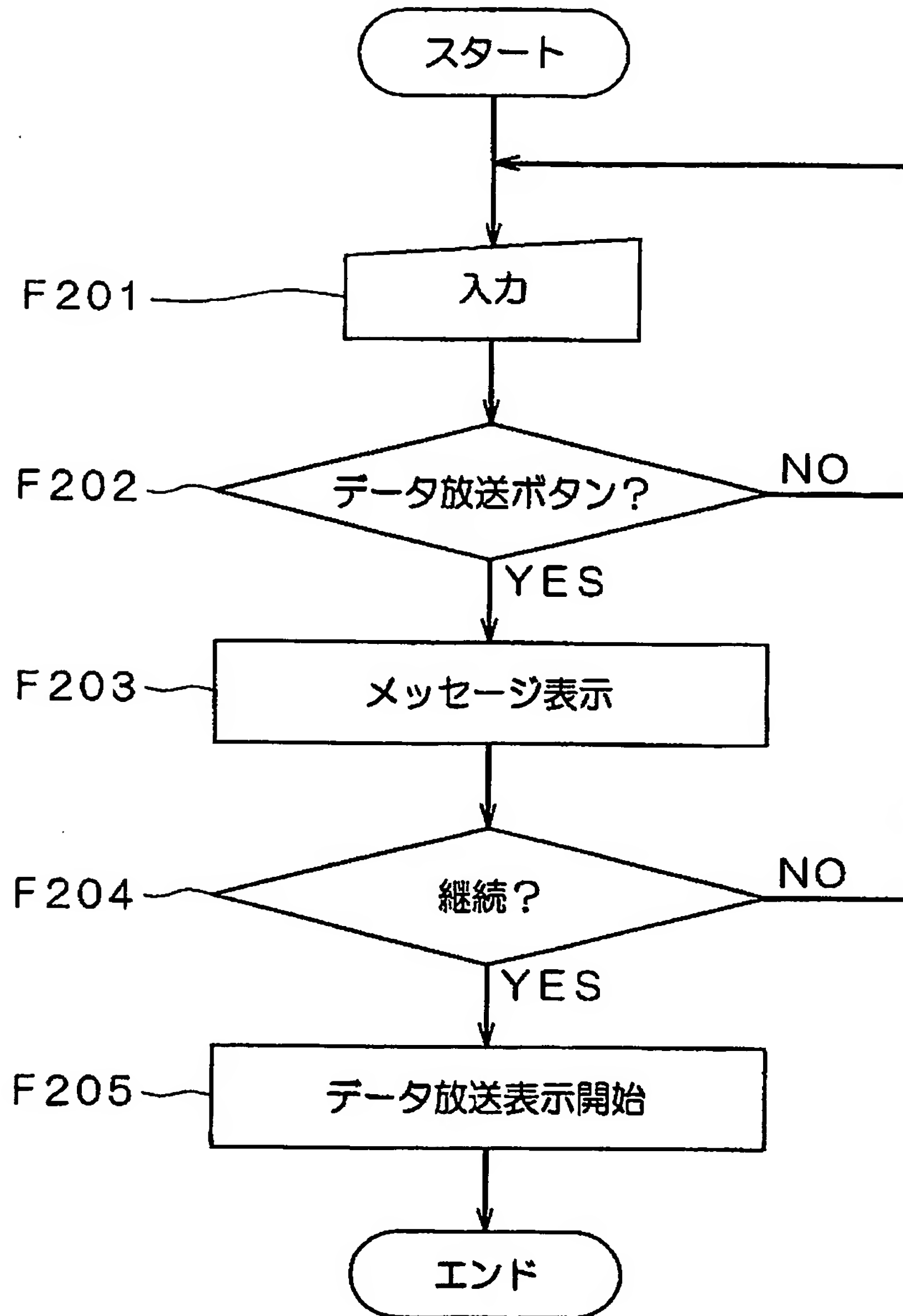
【図 2】



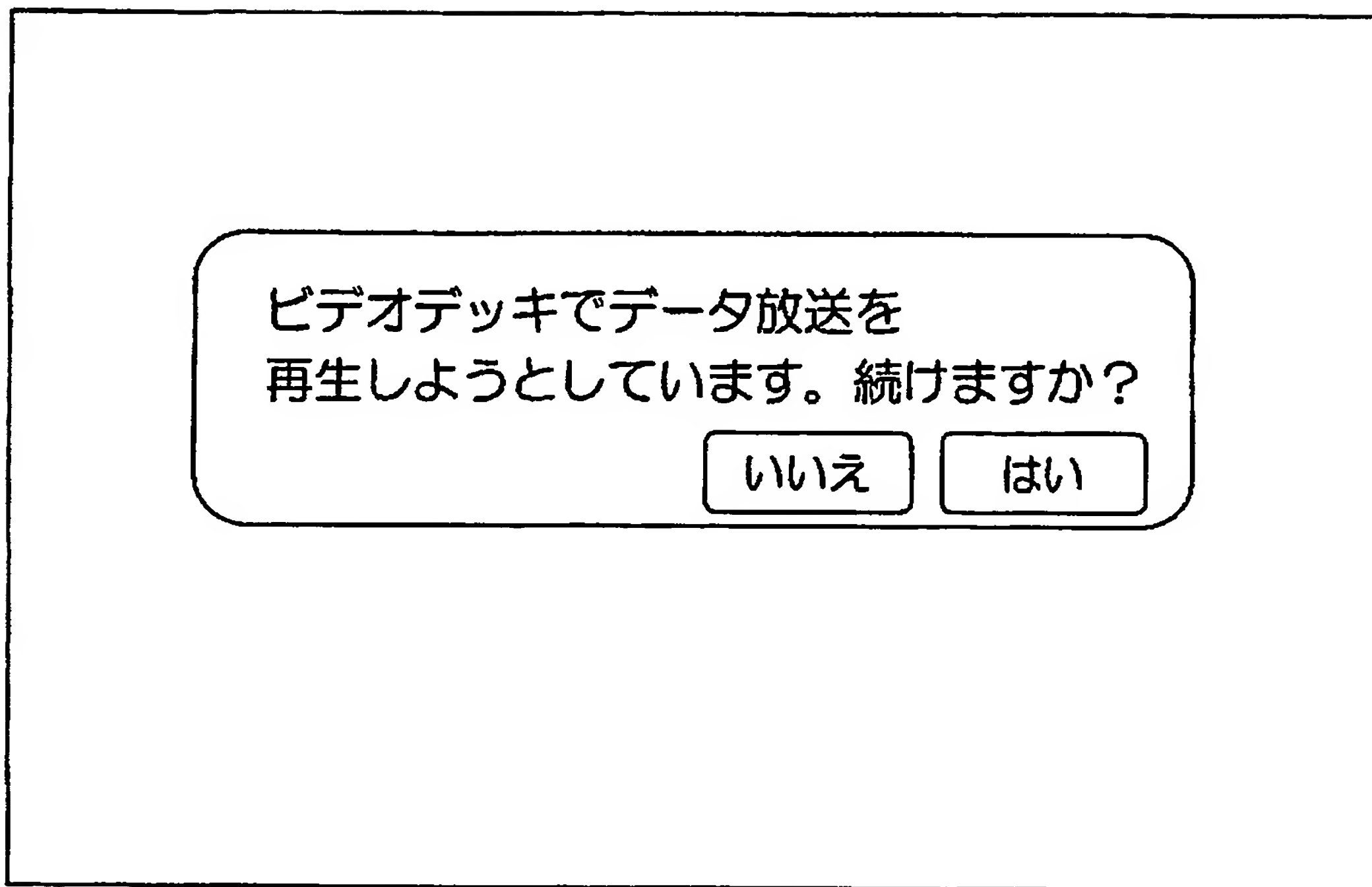
【図 3】



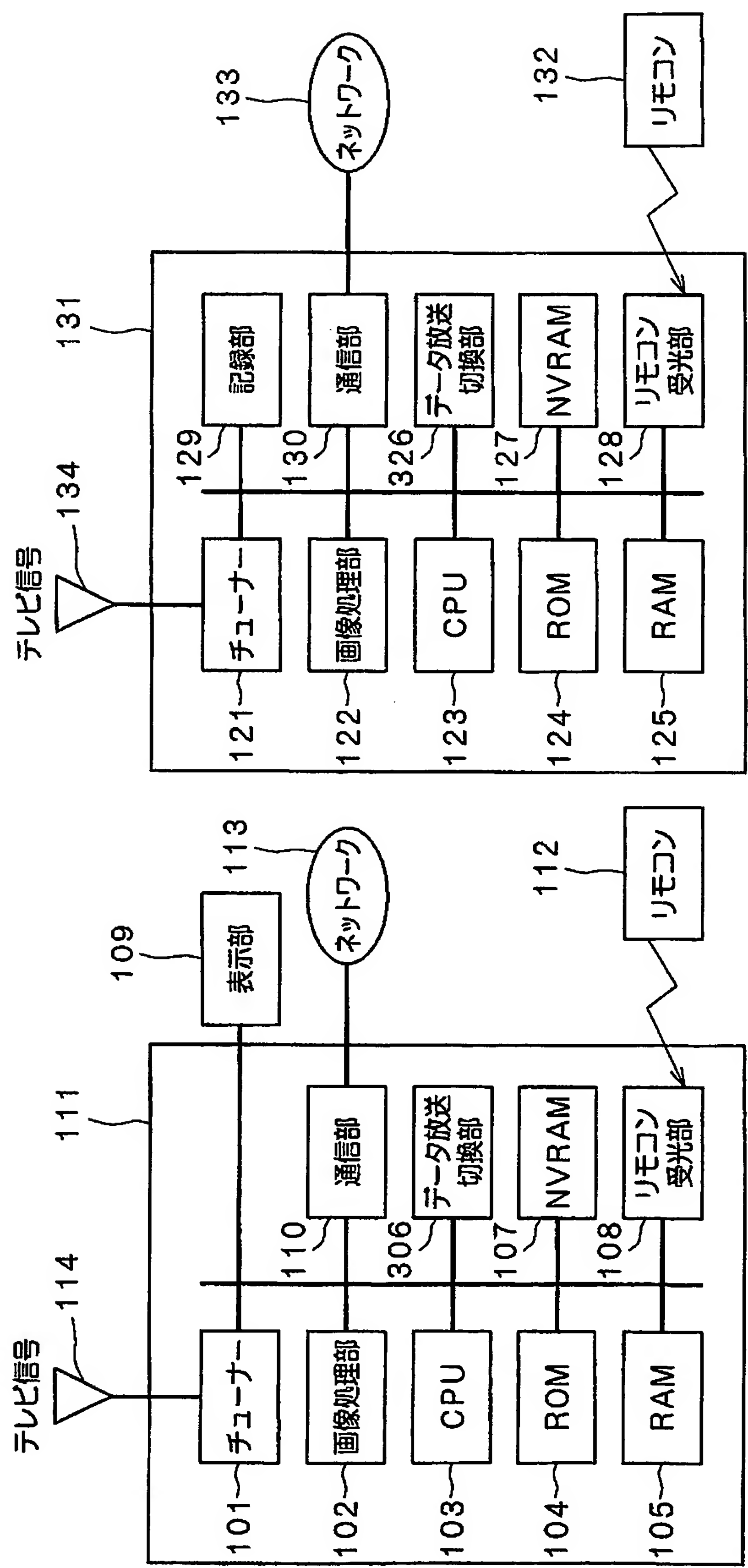
【図 4】



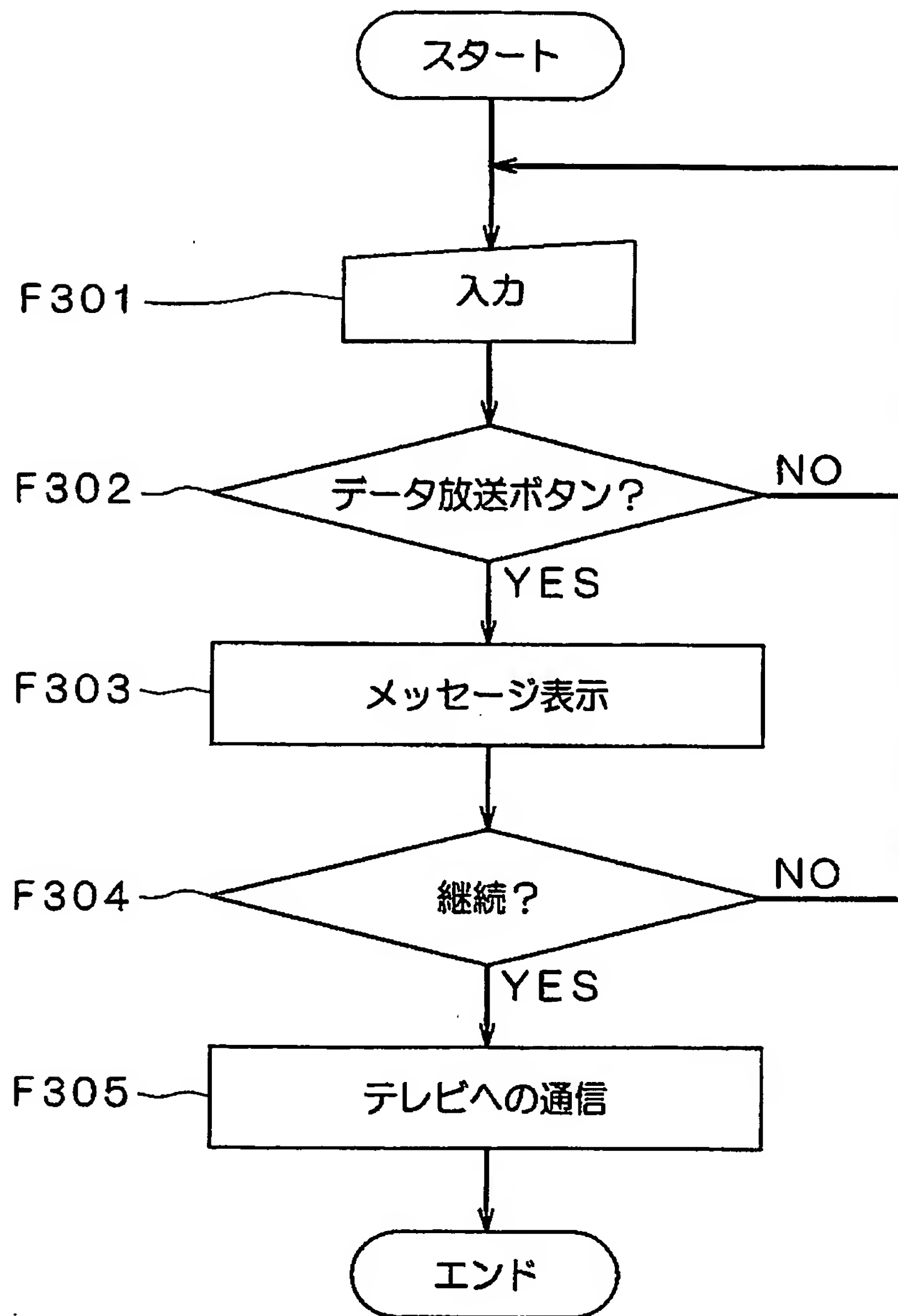
【図 5】



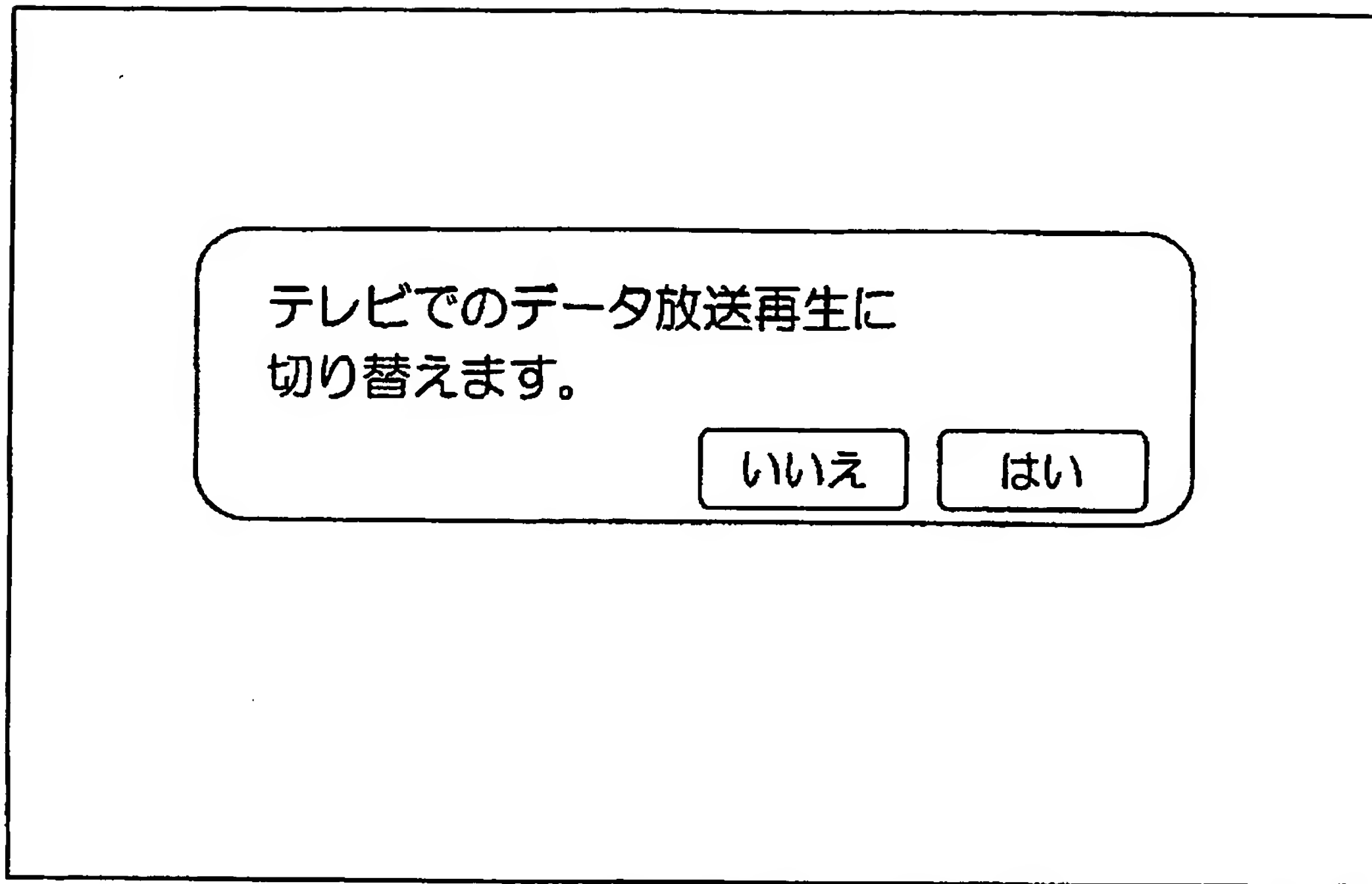
【図 6】



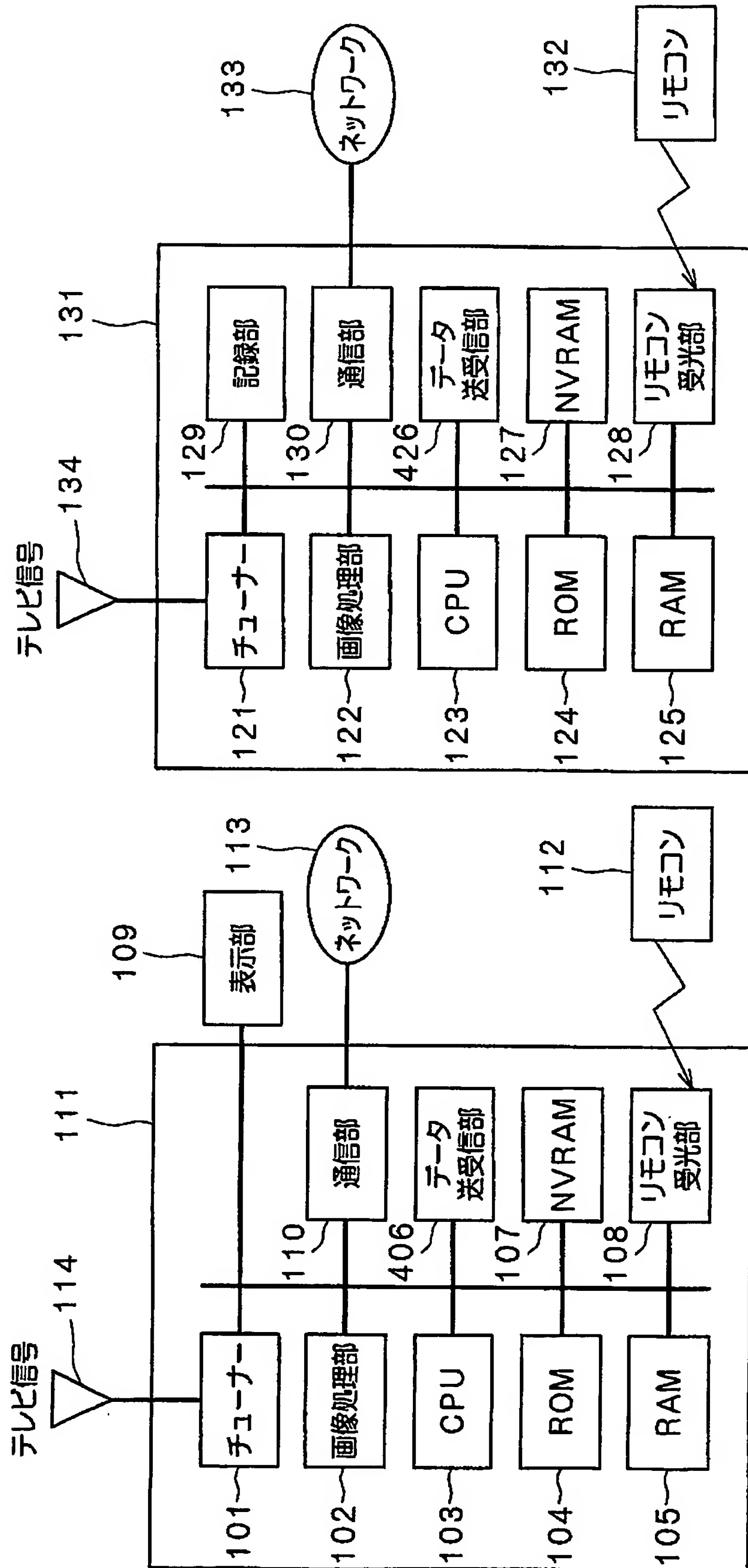
【図 7】



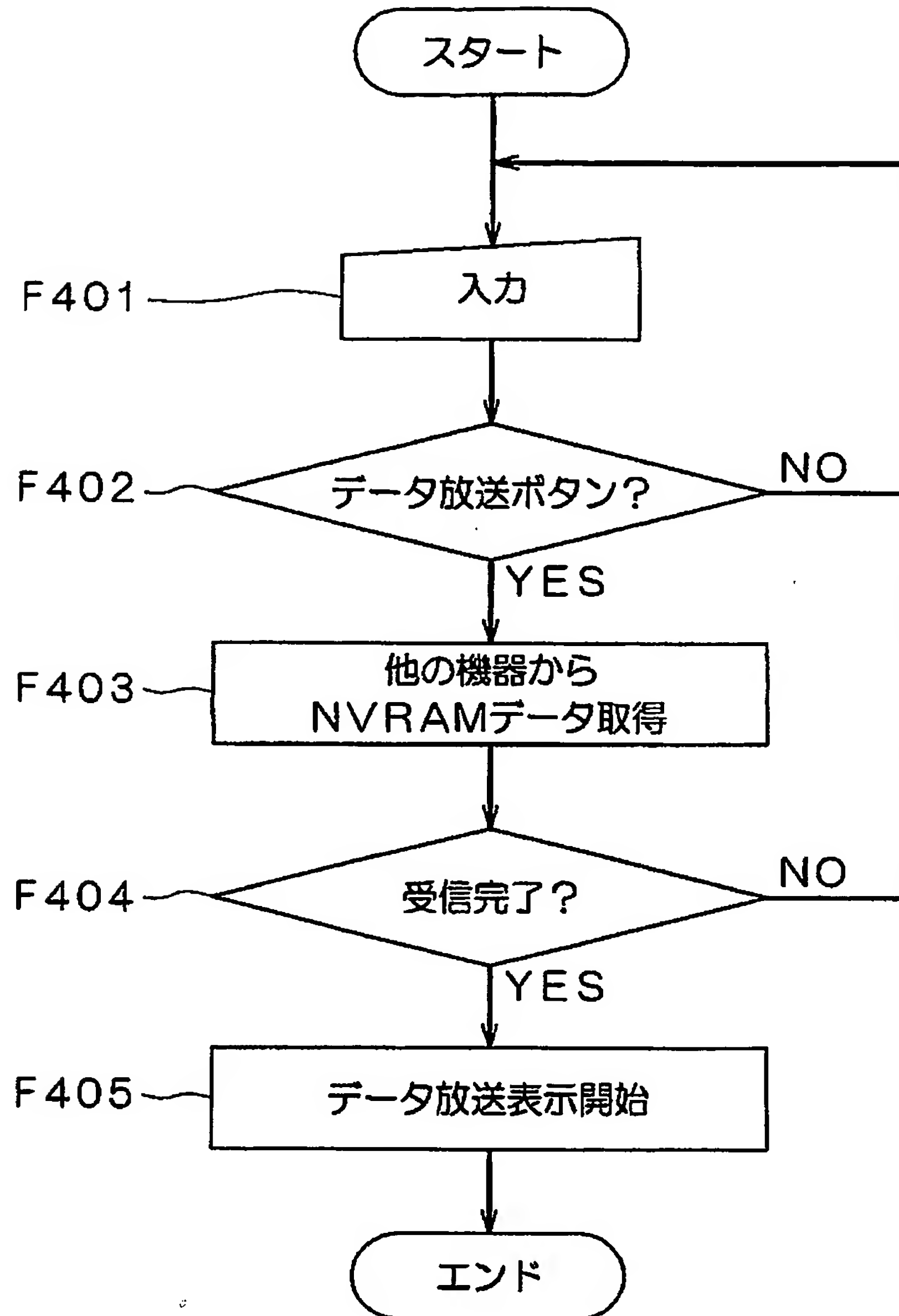
【図 8】



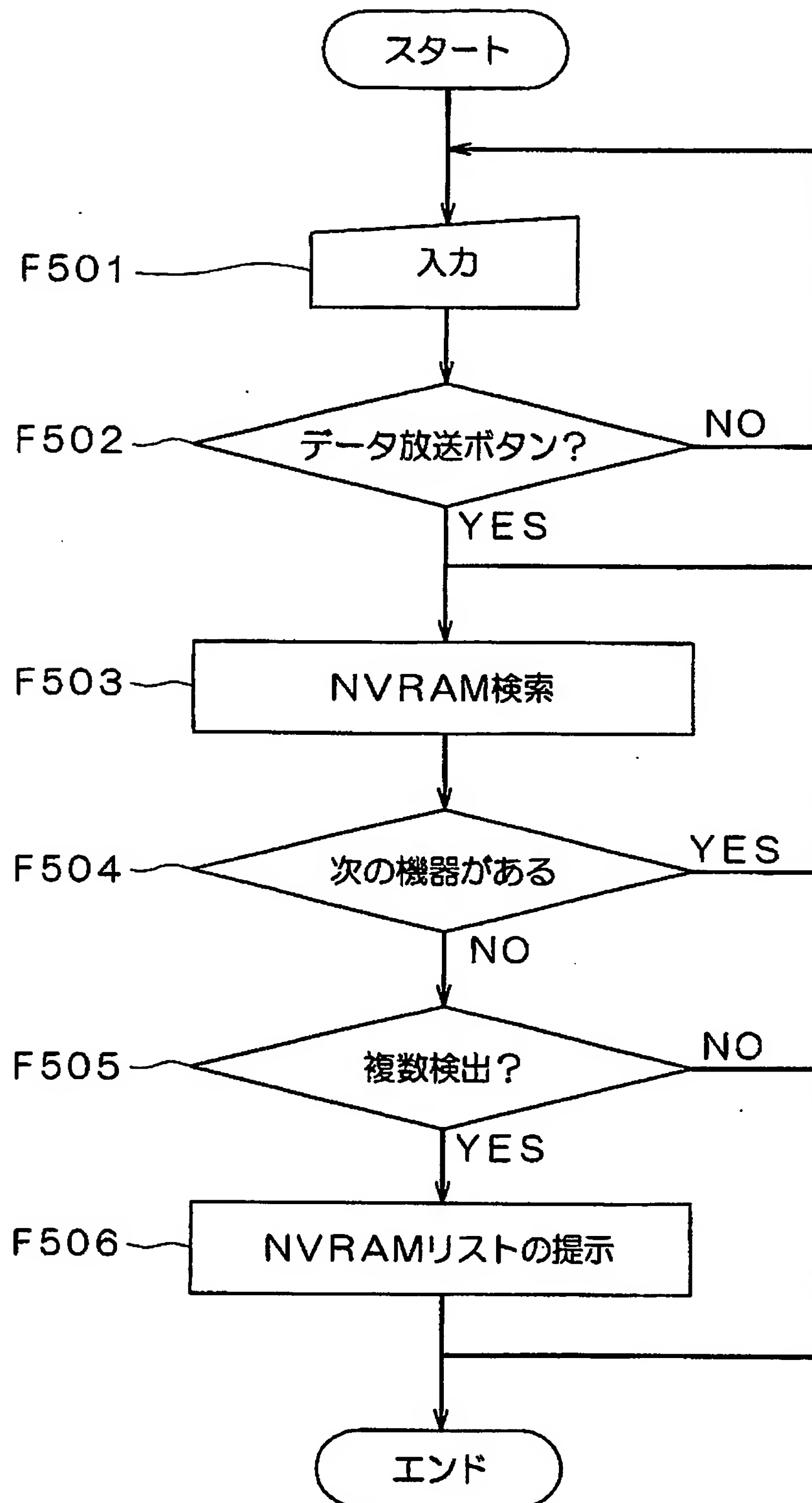
【図 9】



【図 10】



【図 11】



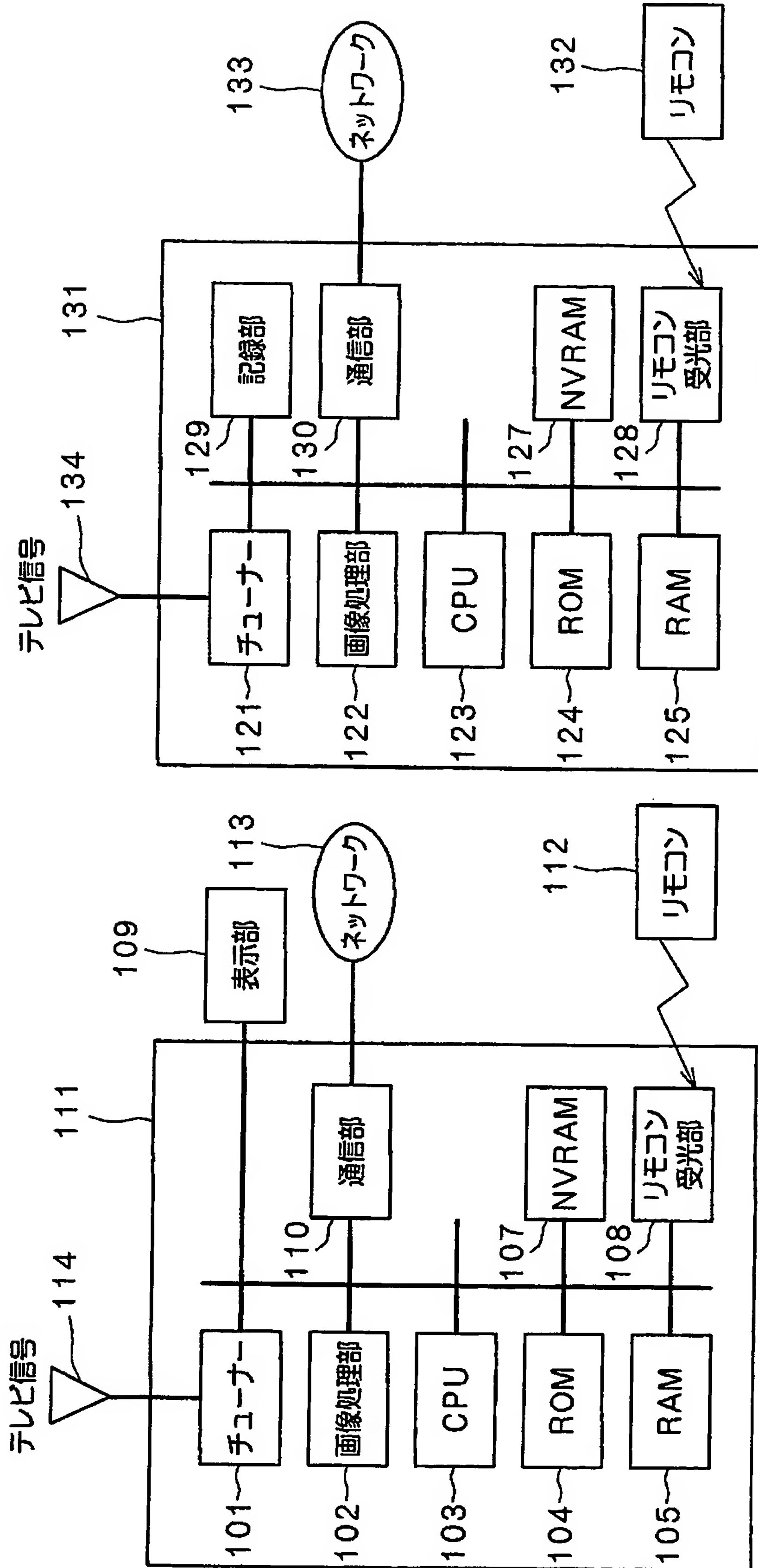
【図 1 2】

複数のメモリー領域を検出しました。
どの領域を使用しますか？

⇒

テレビ1	1	お父さん
テレビ1	2	お母さん
ビデオ1	1	お父さん
ビデオ1	2	お母さん
ビデオ1	3	名称未定
ビデオ2	1	名称未定

【図 13】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 利用者が意図した N V R A M 領域を利用してデータ放送を視聴することが可能なテレビ放送受信装置及びその方法を提供する。

【解決手段】 受信したテレビ信号を変換するチューナーと、受信したデータを映像に変換する画像処理手段と、プログラムやデータを保存する R O M と、R O M に保存されたプログラムを実行する C P U と、プログラム実行用の R A M と、データ放送の表示の実行を抑制するデータ放送表示抑制手段と、テレビ受信やデータ放送受信に必要な情報を格納する N V R A M と、他の受信機と通信を行うための通信手段を持ち、ユーザーからのデータ放送要求に対して設定状態に応じてデータ放送の表示の実行を抑制することを可能とする。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 4 2 9 4 4 0

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日
[変更理由]
住 所
氏 名

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日
新規登録
大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
松下電器産業株式会社

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/019212

International filing date: 22 December 2004 (22.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2003-429440
Filing date: 25 December 2003 (25.12.2003)

Date of receipt at the International Bureau: 24 February 2005 (24.02.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record.**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.